

行政視察報告書

令和6年 11 月 1 日

長浜市議会議員 高山 亨 様

長浜市議会議員 鋒山 紀子

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度総務教育常任委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年10月21日（月）～10月22日（火）
3. 視察場所及び目的
 - ①岡山県高梁市
豪雨災害を教訓とした防災対策について
 - ②島根県出雲市
市立幼稚園の今後のあり方について
4. 調査内容感想等
 - ・視察の目的

岡山県高梁市

H30年7月豪雨災害を教訓とした防災対策を学び、本市における防災減災に
活かすことを目的とする。

島根県出雲市

人口減少・少子化に伴う市立幼稚園のあり方について学び、本市に活かすことを
目的とする。

・視察内容

岡山県高梁市、視察概要

岡山県の中西部に位置し県下三大河川の一つ高梁川が中央南北に貫流、市域 546 余㎢、人口 26 千余人の中山間地、人口は減少の一途をたどる。財政は H30 年 7 月豪雨災害の復旧・復興事業により多大な負担となる。現在、影響は残るものの回復傾向にある。災害発生時、年間雨量が 3 ヶ日間で降る状況、市内各所において浸水、土砂崩れ発生、人的被害も発生、激甚災害の指定、市民の暮らしに欠かせないクリーンセンターも甚大な被害を受け、近隣自治体の応援を受ける等ライフラインも滞る。これを受け H31 年 3 月に復興計画策定、1. 市民生活の再建 2. 災害に強い安全安心まちづくりの推進 3. 産業・経済の再生 4. 復旧・復興に向けた財政運営の基本方針を基に取組みをすすめる現在に至る委員からの質疑の内数か所あるダムの事前放流の予告はされたのとの問いにこの時点ではされなかった、被害が減少したのではないか等の検証は翌年、協議したとの答弁であった。そのことからいかに混乱した状況であったか推察する

島根県出雲市、視察概要

島根県中東部に位置し山陰地方の都市の中で唯一、人口増加を果たした。市域 624 余㎢、人口 172 千余人「縁結びのまち、出雲」として全国に知られる。人口維持に努めながら、将来に向け人口減少、少子化を見据え幼稚園のあり方に取り組んでおられる。H17 年に 2 市 4 町、H23 年に 1 町が加わり現在の出雲市となる。幼稚園は合併まえの設置を引き継ぎ 30 園（休園 1 を含む）ほとんどが小規模園である。H24 年 9 月に「出雲市立幼稚園の閉園に関する方針」を策定その中で園児数 9 人以下の幼稚園については路線バス、スクールバス等を新たに運行することを前提に閉園対象とされている。より効果的、均衡のとれた幼児教育、効果率的な幼稚園運営を行うため現状の把握、課題整理。現状については園児減少加速、民間保育所の一部定員割れ等、市として再度方針を打ち出す必要があると認識され R6 年度内に市方針を策定予定であるとのこと。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

高梁市

視察、説明を受けて感じたことは、命を守る避難行動に移せるか、そのための正確な情報発信の重要性を再認識しました。高梁市では上流域に多くのダムを抱えている。河川監視カメラの順次増設、更には日頃からの防災教育、学習に力を入れておられる、小中学校への出前講座、マイタイムライン講習会を実施本市でも、これらの点さらに充実し、先ずは自分の命は自分が守る、防災教育に力を入れることが重要と感じました。高梁市の課題は個別避難計画の策定が進んでいないとのこと、本市でも自治会への個別計画の推進、周知啓発を進めて行かなければと感じました。課題もあります、避難支援者が被避難者と避難行動の際にけが等が起きた場合その責任はだれがとるのか、支援者がその責を問われるのか、保険はどうなるのか等よく研究して、議会質問に繋げていきたいと思えます。

出雲市

視察、説明を受けて感じたことは、全国共通の課題、少子化にどのようにして就学前教育・保育に対応していくのかです。社会情勢の変化、就業形態を始めとする、ライフスタイルの多様化、保育ニーズの高まり、公立幼稚園のあり方保護者の考え方の変化、一つ例にとると、幼稚園の預かり保育でも、親の育児の肩代わりになることへの懸念の声もあります。本市において、就学前教育・保育は子どもの育ちへの環境を整える大事なプロセスであることを思えば、一つの考え方として、就学前教育・保育を一体として捉えた、一貫した総合施設が必要ではないか、地域が自主性を持って実情にあったサービスの提供を行う幼稚園型認定こども園の推進が考えられるが、それにつけても人材の確保、民間の力を入れるとしても経営として成り立つのか、それらの課題を整理し取り組むこども達をより良い環境の中で、その育ちを見守る研究をしなければと感じました。